

# 99-189

## 問題文

メニエール病の病態及び治療に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. めまいは反復性である。
2. 蝸牛内の内リンパ液が減少している。
3. 聴力は正常である。
4. ベタヒスチンメシル酸塩が内服で用いられる。
5. プロプラノロール塩酸塩が静注で用いられる。
6. プロカテロール塩酸塩水和物が内服で用いられる。

---

## 解答

1, 4

## 解説

選択肢 1 は、その通りの記述です。

選択肢 2 ですが

メニエール病の本体は、内リンパ水腫です。つまり、リンパ液が過剰に溜まっています。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

メニエール病の症状として、めまいの他、難聴などの症状もあります。聴力が正常であるとはいえません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は、正しい記述です。

選択肢 5,6 ですが

メニエール病の治療薬としては、内リンパ水腫軽減を目的とした血流改善薬（ベタヒスチンなど）や、利尿薬や、ステロイド等が用いられます。又、末梢神経障害に対して、ビタミン B<sub>12</sub> 製剤も、よく用いられます。

さらに、対症療法として、自律神経症状や吐気の抑制を図り、ジアゼパムや、ジフェンヒドラミンなどが用いられます。プロプラノロールのような  $\beta$  遮断薬や、プロカテロールのような  $\beta$  刺激薬は用いられません。よって、選択肢 5,6 は誤りです。

以上より、正解は 1,4 です。